

シンポジウム 杭の鉛直支持力を考える

- 杭基礎の設計・施工の現状と課題 -

杭の鉛直支持力は古くから議論されているが、今でも基本的な事項さえ解明されたとは言えない状況にある。また、最近、高支持力工法と呼ばれる拡大根固め工法や回転貫入工法も出現し、拡底場所打ち杭とともに、一本の杭に期待する支持力は非常に大きくなっている。そこで、4年前から「杭の鉛直支持力小委員会」の場で、先端支持力、周面摩擦力、施工の影響、群杭及びパイルド・ラフト、動的挙動について検討してきた。本シンポジウムでは、小委員会内の活動成果をもとに、上記5つの課題をテーマとするパネルディスカッションを行ったうえで、最後に杭基礎の設計や施工の現状と課題について議論を深めたい。

主催 日本建築学会 構造委員会 基礎構造運営委員会
杭の鉛直支持力小委員会

東京会場

日時 2008年8月21日(木) 9:30~17:30
会場 建築会館ホール(東京都港区芝5-26-20)
<http://www.aij.or.jp/jpn/guide/map.htm>
定員 200名(申込先着順)

大阪会場

日時 2008年8月28日(木) 9:30~17:30
会場 大阪府建築健保会館(大阪市中央区泉町2-1-11)
<http://www.bcj.or.jp/c06/01/map/osaka-kenpo.pdf>
定員 150名(申込先着順)

[以下、東京・大阪共通]

<プログラム>

司会: 山本春行(広島大学) 小椋仁志(ジャパンパイル)

9:30~9:45 小委員会の活動概要
桑原文夫(日本工業大学)

9:45~10:55 杭の先端支持力
概要及び先端形状と支持力評価
伊勢本昇昭(戸田建設)
根固め部形状と必要性能
林 隆浩(トーヨーアサノ)
先端支持力評価のための平均N値
山崎雅弘(岡山理科大学)
提言
佐伯英一郎(新日鉄エンジニアリング)
討議
司会: 佐伯英一郎(前掲)
記録: 金井重夫(千代田工営)

10:55~12:05 杭の周面摩擦力
周面摩擦特性に対する影響因子
山崎雅弘(前掲)
粘性土地盤の周面摩擦特性
武居幸次郎(鹿島建設)

非直杭の周面摩擦抵抗機構
小椋仁志(前掲)
討議
司会: 山崎雅弘(前掲)
記録: 柳 悦孝(新日本製鐵)

13:00~14:10 施工の影響

概要
桑原文夫(前掲)
場所打ち杭の特徴と地盤に与える影響
東京: 青木雅路(竹中工務店)
大阪: 武居幸次郎(前掲)
埋込み杭の特徴と地盤に与える影響
東京: 津田和義(日本ヒューム)
大阪: 加藤洋一(三谷セキサン)
回転貫入杭の特徴と地盤に与える影響
東京: 村上 浩(旭化成建材)
大阪: 金井重夫(前掲)
討議
司会: 桑原文夫(前掲)
記録: 宮坂享明(地盤試験所)

14:10~15:20 群杭及びパイルド・ラフト

概要
土屋 勉(室蘭工業大学)
群杭における相互作用
東京: 佐原 守(大林組)
大阪: 真野英之(清水建設)
パイルド・ラフトにおける相互作用
東京: 真野英之(前掲)
大阪: 長尾俊昌(大成建設)
討議
司会: 土屋 勉(前掲)
記録: 和田昌敏(新日鉄エンジニアリング)

15:30~16:40 杭の動的挙動

動的試験法の適用 阿部秋男(東京ソイルリサーチ)
現行基準の問題点 椿原康則(竹中工務店)
試験実施上の問題点
長尾俊昌(前掲)
討議
司会: 阿部秋男(前掲)
記録: 保井美敏(戸田建設)

16:40~17:30 全体討議

テーマ: 杭基礎の設計・施工の現状と課題
司会: 桑原文夫(前掲) 小椋仁志(前掲)
記録: 佐原 守(前掲) 真野英之(前掲)

配布資料 小委員会報告書(CD)
説明スライド印刷資料

参加費(資料代含む・当日お支払いください)
会員4,000円、登録メンバー4,500円、
会員外5,000円、学生3,000円

申込方法 E-mail または Fax にて、催物名称、参加会場、氏名、勤務先・所属、同電話番号、E-mail アドレスを明記してお申し込みください。定員に達した場合は、お断りの方のみご連絡します。

申込先 日本建築学会事務局研究事業G 今井
E-mail: imai@aij.or.jp Fax: 03-3456-2058